

2008年11月14日

皇后さま「西洋絵画の父 ジョットとその遺産

ージョットからルネサンス初めまでのフィレンツェ絵画ー」をご鑑賞

2008年11月7日（金）、皇后さまが損保ジャパン東郷青児美術館で開催された展覧会「西洋絵画の父 ジョットとその遺産ージョットからルネサンス初めまでのフィレンツェ絵画ー」を鑑賞されました。

本展覧会では、13世紀から14世紀にかけてイタリア全土で活躍し、「西洋絵画の父」と呼ばれた画家ジョット・ディ・ボンドーネ（1267年頃～1337年）の作品4点と、後継者の祭壇画など30点（ほぼ全点日本初公開）を展示しました。

皇后さまは本展覧会の監修者である東京大学教授・小佐野重利氏の説明をお受けになりながら、代表作の一つ「聖母子」（1295年頃）、十字架の下で涙を流す聖母を描いたとされるフレスコ画断片の「嘆きの聖母」などを鑑賞されました。

※なお、損保ジャパン東郷青児美術館で開催されていましたが「西洋絵画の父 ジョットとその遺産ージョットからルネサンス初めまでのフィレンツェ絵画ー」は11月9日（日）に閉幕しております。

【概要】

- | | |
|----------|--|
| (1) 展覧会名 | 西洋絵画の父 ジョットとその遺産
ージョットからルネサンス初めまでのフィレンツェ絵画ー |
| (2) 会期 | 2008年9月13日（土）～11月9日（日） |
| (3) 開催形態 | 主催 損保ジャパン東郷青児美術館／日本テレビ放送網／読売新聞東京本社
後援 イタリア大使館／イタリア文化会館
協賛 損保ジャパン
協力 東京大学美術史学研究室／アルテリア／日本通運／日本貨物航空 |

以 上